

2014年3月12日

独／フレゼニウス メディカル ケア社は取締役会メンバーの変更につき発表をしました。

独／フレゼニウス メディカル ケア社は、ヨーロッパ、中東、アフリカおよび中南米地域(EMEALA)の最高事業責任者兼グローバル事業戦略責任者である Emanuele Gatti(58)が、2014年3月31日付をもって、取締役会を退任し、ヘルスケア部門における戦略および政策の最高顧問に就任するとの発表を行いました。

Gattiは、1989年1月から同社の透析事業部門に携わり、1997年5月には取締役会のメンバーに任命されました。今後は、いくつかの外部委員会にて会社の代表を務め、戦略的な事業機会の評価選定において、CEOである Rice Powell をサポートしていきます。さらに、学術分野における実績を生かし、今後は再生医療分野の開発や、透析と血液浄化療法の一層の発展に努めていきます。

また、2014年4月1日付で、Dominik Wehner(45)が Gatti の後任として取締役会メンバーに入り、ヨーロッパ、中東およびアフリカ(EMEA)地域の事業統括を担当し、中南米(LA)地域については John Anderson が担当し、Powell に直接レポートしていく体制へと変更されます。Wehner は、1994年にセールスマネージャーとして入社し、今回の辞令の前には東ヨーロッパ、中東およびアフリカでの事業統括責任者を担当していました。また、Vifor Fresenius Medical Care Renal Pharma 社の取締役会のメンバーも兼ねており、EMEALAでの新規事業活動の拡張に貢献してきました。

また、国際法務、コンプライアンス、知的所有権およびドイツ国内の労働関係に係る担当役員である Rainer Runte(54)は、2014年12月31日付で終了する同社との契約の更新はしない意志を固めました。それに伴い、2014年4月1日付で取締役を退任いたします。

これにより、北米フレゼニウス メディカル ケア社の最高コンプライアンス責任者である David Kembel が当面の間、グループ全体のコンプライアンスの責任者となります。

Runte は、1990年入社後、1997年には法律部門の上級副社長となり、2002年には取締役任に任命されました。今後は、社内規定とコンプライアンスの顧問として同社との関係を継続していきます。